

多機能フィルター 施工マニュアル



緑・土・水

土の動きを止め自然にかえず養生マット

多機能フィルター株式会社

多機能フィルター 施工マニュアル

概要

本施工マニュアルは、「多機能フィルター」を施工するにあたり、多機能フィルターの効果を損なわず、かつ安全に工事を行うために正しい施工方法・注意事項を定めたものです。

工事内容

工種	種別	施工区分
養生マット 多機能フィルター 敷設工	SP-30, SP-45 MF-30R-0, MF-45R-0 MF-30R-5, MF-45R-5	切土部 盛土部
	MF-30R-10, MF-45R-10 MF-45R-20, MF-45R-30	切土部
	(亀甲金網装着型) SP-45wn, MF-45R-0wn MF-45R-5wn, MF-45R-10wn MF-45R-20wn, MF-45R-30wn	切土部 盛土部
	(生分解型) エコマットヨビコミ1号 エコマットタシゼン-0, エコマットタシゼン-5	切土部 盛土部
	エコマットタシゼン-10, エコマットタシゼン-20 エコマットタシゼン-30	切土部

施工要領

施工用具の確認

用具として、安全帯、ロープ、ロープアンカー、金槌(木槌)、大ハンマー、ハサミ等が必要となります。

安全帯



ロープ



ロリップ



セイフティブロック



製品及び副資材



SPタイプ



MFタイプ



アンカー
(φ9×200L・φ9×300L・φ9×400L)



止め釘 (φ5×150L)



ブラピン
(P-100・P-150・P-200)



コンクリート釘、ワッシャー
(#7×75L)

製品仮置きや保管についての注意事項

仮置きや保管は、次の事項に注意してください。

- 1) 置場は、荷崩れしないよう平坦な場所を選んでください。
- 2) 屋外での保管で地面に製品を直接置く場合は、製品を傷めないよう礫などの障害物を取り除いてください。また、直射日光を避け風通しの良い乾燥した場所に保管してください。
- 3) 製品は水濡れを嫌うので降雨や霜等の恐れがあるときは、ブルーシート等で覆ってください。また、種子入り製品の場合、梅雨時期や夏期はブルーシート等で長期保管しますと蒸れにより種子の劣化等の恐れがありますので避けてください。

施工場所の確認と点検

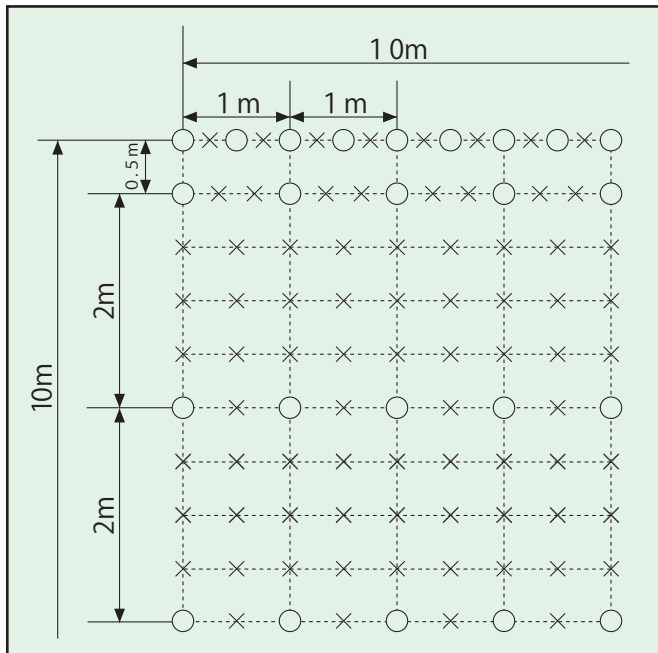
施工に先立って、以下の事を行ってください。

- 1) 法面の仕上げは出来るだけ平滑に整形してください。
- 2) 特に法肩がオーバーハングした箇所は整形処理してください。
- 3) 法肩及び法面を掃除し、ゴミ・浮石・浮土・雑草などを十分除去し、破壊箇所があれば整形処理をしてください。
- 4) 雑草や木の根が残っている場合は、製品を浮かす原因となり、製品と土壌の密着性を損ない効果を低下させますので、完全に除去してください。
- 5) 所定の排水設備（縦・横排水）が基準通りに設置されている事を確認してください。

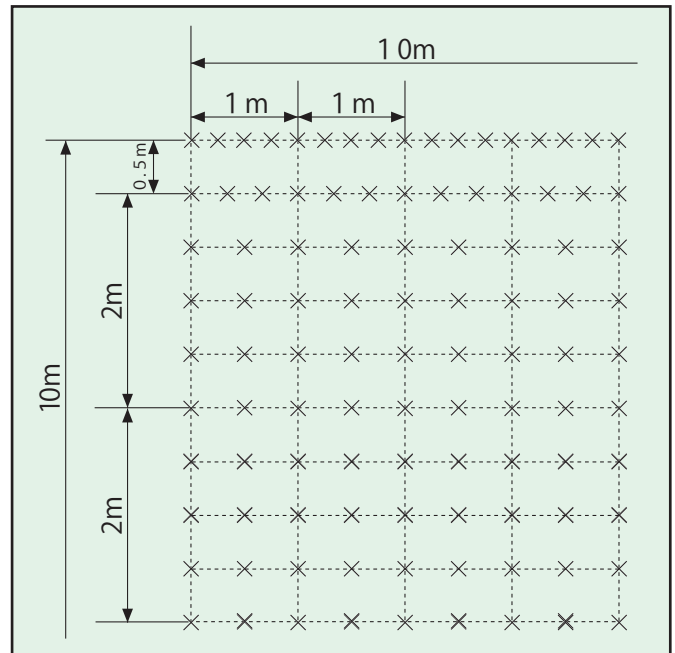
■ 施工方法

アンカー・止め釘・プラピンの打ち込み位置

■ 切土用



■ 盛土用



○ アンカー (φ9×200L) 87本/100㎡
× 止め釘 (φ5×150L) 384本/100㎡

× プラピン (P-100) 471本/100㎡
(止め釘)

※現場によっては本数が増える可能性があります。

施工要領

1

法面整形・掃除

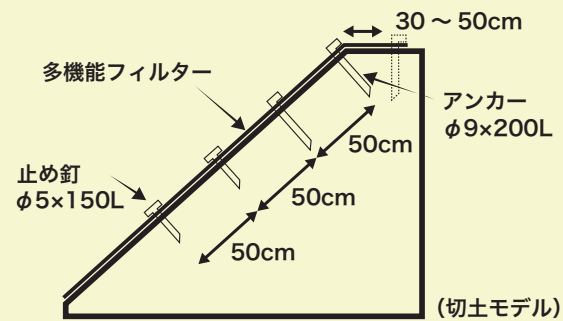
- 法面の仕上げは出来るだけ平滑に整形してください。
- 法肩及び法面を掃除し、ゴミ・浮石・浮土・雑草などを十分除去し、破壊箇所があれば整形処理をしてください。
- 雑草や木の根が残っている場合は、製品を浮かす原因となり、製品と土壌の密着性を損ない、効果を低下させますので、完全に除去してください。
- 所定の排水設備（縦・横排水）が基準通りに設置されている事を確認してください。

2

法肩部分の施工



- 法肩部分を固定ピンで固定する。
- 法肩はラウンディングに沿って30～50cm程度、上に被せてください。
- ラウンディング上に排水溝を設ける場合は、その線まで被せてください。



3

法面の施工



- マットを足で支えながら、所定の打ち込み位置に、固定ピンを打設します。
- マットは法面の凹凸に這わせるようにユツタリと延展し決して引っ張らないでください。(図1)
- マットを法肩から一気に垂らすと、後で抑え込んでも必ずしも密着しないので避けてください。
- マットと地山が密着するように、凹部や岩部、転石箇所については固定ピンを割増し、浮き上がりを出来る限り押さえ込んでください。



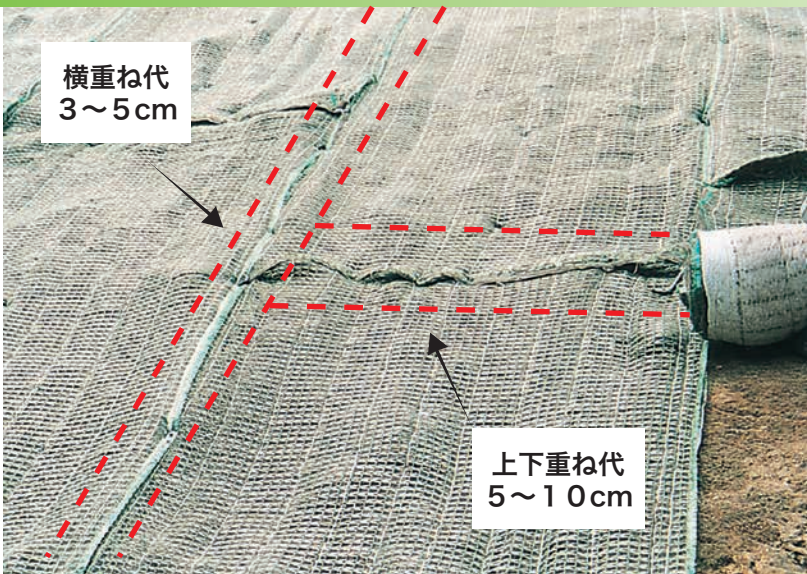
(図1)

4 法尻部分の施工

- 法尻でマットをハサミ等で切り、固定ピンを打設します。
- 法尻に排水溝を設ける場合はその縁まで被せるのが理想となります。



5 重ね部分の施工



- 隣との重ね部分は深く被せず、縁ロープを重ねて固定ピンで巻き込んでから打ちつけます。重ね代は3~5cm程度とします。
- 法面途中でマットを繋ぐ場合、上部マットを上、下部マットを下になるよう重ね、固定ピンで打設します。重ね代は5~10cm程度とします。

6 施工完了

